知財人財育成研究分科会セッション

◆知財人財育成の現在地と未来像◆

～知財関連団体による研修プログラムに関するシリーズセッションの総括パネル～

【パネリスト】※セッションにお招きした団体の順に記載

一般社団法人知財・無形資産ガバナンス協会　副理事長　川名 弘志 氏

一般社団法人発明推進協会　知的財産情報サービスグループ 部長　小山 和美 氏

独立行政法人工業所有権情報・研修館　人材開発統括監　本間 友孝 氏

日本弁理士会　知的財産経営センター運営委員　矢口 和彦 氏

一般社団法人 日本知的財産協会　人材育成グループ　部長　久山 秀人 氏

当学会副会長、当分科会担当理事、金沢大学 融合研究域 教授　金間 大介 氏

当分科会主査、特定非営利活動法人 産学連携推進機構 理事長　妹尾 堅一郎 氏

【概　要】

当分科会は 2025 年 10 月から 2026 年 9 月にかけて、「知財人財育成の現在地と未来像」をテーマに、知財関連 6 団体を招いたセッションシリーズ（全 6 回）を開催した。本セッションでは、ご登壇いただく方々とともにシリーズを総括する。

各団体は、長い歴史を持つ団体から近年設立された団体まで、それぞれの沿革と対象者に応じて知財人財の育成を担ってきた。その重点も、知財・無形資産の経営への活用（知財・無形資産ガバナンス協会）、知財と経営の架橋（知的財産教育協会）、知財実務の体系的な研修（発明推進協会）、初学者の裾野拡大（INPIT）、権利化支援から経営支援への転換（日本弁理士会）、「知財で経営・事業を動かす」人財への転換（JIPA）と多様である。その一方で、シリーズを通じて二つの変化が繰り返し話題となった。事業や経営に資する知財人財への期待の高まりと、数年後には権利化実務の多くを担い得るほどの生成 AI の急速な進展である。当分科会では、この二つの変化を前に、どのような人財をどう育成するか、それを改めて考える時期に来ているのではないかと考えている。

そこで本セッションでは、妹尾［1］の三つの人財像、すなわち権利化実務を担う「知財権利化専門人財」、権利化・秘匿化・標準化・公開化などを手段として事業優位のための市場形成と収益確保の両立を図る「知財マネジメント人財」、知的資源の戦略に経営として責任を負う「知的資源ディレクション人財」を手がかりに、「どのような知財人財を育てるか」と「どう育成するか」という二つの観点から、各登壇者のお考えを伺う。数年後を見据えてどのような人財を育てたいのか、その人財に向けてどのような考え方と方法論で育成に臨むのか。そのうえで、研修の企画・運営に携わる者同士として問題意識を共有したい。なお、本セッションでの議論は、当分科会の今後の活動に活かしていく予定である。（文責：担当幹事・横山貞彦）

［1］妹尾堅一郎：「知財人財」モデルの変容と多様化～20 年間の議論を省察すると共に今後の方向性を見通す～，日本知財学会誌，Vol.19 No.3，pp.17-27（2023）．

知財人財育成研究分科会セッション

◆知財人財育成の現在地と未来像◆

～知財関連団体による研修プログラムに関するシリーズセッションの総括パネル～

【パネリスト】　※セッションにお招きした団体の順に記載

【川名 弘志 氏】一般社団法人知財・無形資産ガバナンス協会　副理事長

1993 年 KDDI 株式会社入社。知的財産室にて特許出願・権利化、知財法務・ライセンス、戦略業務に従事し、2015 年同室長、2024 年プロフェッショナル（本部長級）に就任（現任）。2025 年一般社団法人知財・無形資産ガバナンス協会を設立し、副理事長に就任（現任）。弁理士。

【小山 和美 氏】一般社団法人発明推進協会　知的財産情報サービスグループ 部長

公益社団法人発明協会にて未来の科学の夢絵画展事業、少年少女発明クラブ事業に従事。2020 年一般社団法人発明推進協会知的財産情報サービスグループ部長に就任し、研修・出版等を統括。発明協会青少年創造性グループ参事を兼務し、現在に至る。

【本間 友孝 氏】独立行政法人工業所有権情報・研修館　人材開発統括監

1996 年に特許庁入庁。化学分野の特許審査に従事する他、庁内外において知財行政や国際業務を担当。2015 年から JETRO 北京事務所に駐在。2019 年以降、審査基準室長を含む複数の特許審査部門の管理職を務めながら特許審査部門の人材育成も担当。2026 年 7 月より現職。

【矢口 和彦 氏】日本弁理士会　知的財産経営センター運営委員

1985 年東京商工会議所勤務。情報管理センター主幹、品川支部事務局次長、労働政策課長（日本商工会議所兼務）、葛飾・大田支部事務局長、城北ブロック長、総務統括部参事を歴任し中小企業支援や地域振興に従事。2021 年退職。経営コンサルタント・弁理士。

【久山 秀人 氏】一般社団法人 日本知的財産協会　人材育成グループ　部長

1987 年株式会社東芝入社。2014 年より東芝ライフスタイル株式会社にて知財部長。白物家電の出願・権利化、ライセンス業務に従事。2016 年より一般社団法人日本知的財産協会にて研修事業の責任者として業務に従事し、現在に至る。

【金間 大介 氏】当学会副会長、当分科会担当理事、金沢大学 融合研究域 教授

一般社団法人 WE AT（ウィーアット）副代表理事、北海道医療大学客員教授。イノベーション論やモチベーション論を研究し、教育・人財育成分野との連携も多数。著書に『先生、どうか皆の前でほめないで下さい』、『無敵化する若者たち』（東洋経済新報社）等。

【妹尾 堅一郎 氏】 当分科会担当主査、特定非営利法人産学連携推進機構 理事長

慶應義塾大学大学院教授、東京大学先端科学技術研究センター特任教授（知財マネジメントスクール責任者）、内閣知的財産戦略本部専門調査会会長、国際標準化タスクフォース座長、当学会理事、ＣＩＥＣ学会会長、研究・イノベーション学会副会長等を歴任。現在も東京大学大学院で「イノベーションと知的財産」論を担当。ビジネスモデル、イノベーション、知財マネジメント、資源循環経済等の研究と企業研修やコンサルを通じた啓発活動を実践中。